

2022年2月7日  
拓伸会  
沖縄電力株式会社

## 拓伸会(拓南グループ)と沖縄電力株式会社との連携協定について ～脱炭素社会の実現および循環型社会の形成をめざして～

### 1. 連携協定の締結

拓伸会(拓南グループ)(会長:古波津 昇、以下、拓伸会)と沖縄電力株式会社(代表取締役社長:本永 浩之、以下、沖縄電力)は、本日、連携に関する協定を締結いたしました。

本協定に基づき、拓伸会と沖縄電力は、脱炭素社会の実現および循環型社会の形成に向け、各々の持つ知識・技術を結集して緊密に連携・協力し、持続可能な沖縄の未来のため、取り組んでまいります。

#### 【連携協定の連携事項】

- (1) エネルギーの安定的かつ適正な供給の確保に関すること
- (2) 電力需要の負荷平準化に関すること
- (3) 環境負荷の低減に配慮したエネルギーの導入拡大および転換促進に関すること
- (4) 使用済み再エネ設備等の沖縄県内での資源循環に関すること
- (5) 地域の次世代教育に関すること
- (6) その他本協定の目的に沿うこと

### 2. 今後の展開(取り組みの方向性)

拓伸会(拓南グループ8社)は、1953年の拓南商事の創業を皮切りに鉄のリサイクルを開始しました。以来、資源の少ない沖縄では、いわゆる都市鉱山を活用し循環させることが重要であるという思いから、循環型社会の形成やゼロエミッションの実現に向け努力してまいりました。沖縄の明るい未来のため、沖縄電力という強力なパートナーと共に取り組みを更に加速してまいります。

沖縄電力は、2020年12月に2050 CO2排出ネットゼロの実現に向けたロードマップを公表しました。沖縄県内の総合エネルギー事業者としてグループの総合力を発揮し、社会的責任を果たすべく沖縄県全体のCO2排出ネットゼロに向けて取り組んでまいります。

今後、持続可能な沖縄の未来のために、脱炭素社会の実現および循環型社会の形成に向けた検討チームを発足し、共に協力して取り組んでまいります。

別紙:拓伸会と沖縄電力の「脱炭素社会の実現および循環型社会の形成」に向けた連携協定による今後の主な取り組み

以上

拓伸会と沖縄電力の  
「脱炭素社会の実現および循環型社会の形成」に向けた  
連携協定による今後の主な取り組み

➤ **環境負荷の低減に配慮したエネルギー利用の促進**

拓伸会の工場等の屋根に太陽光発電設備を導入するなど、省エネ設備・機器の導入および環境負荷の低減に配慮したエネルギー利用を促進する。

➤ **社有車へのEV導入推進とEVステーションの設置**

社有車のEV化および再エネ電力供給型EVステーションの設置によりCO2排出の低減に寄与する。

➤ **太陽光(PV)パネル、電気自動車バッテリー等のリユース・リサイクルシステムの構築**

脱炭素社会の実現の鍵を握る太陽光パネルや、電気自動車バッテリーの使用済み品を沖縄の資源として循環させるシステムの構築・技術開発を目指す。

➤ **沖縄の環境に適した太陽光パネル架台の開発**

太陽光発電の更なる普及を目指し、耐食性等を高めた長寿命化等の機能を有する沖縄型架台を開発する。

➤ **島嶼県における脱炭素及び循環型社会の形成に向けた意識啓発活動の展開**

地域の皆さまの見学会等を通して、脱炭素社会の実現および循環型社会の形成に資する人材の育成等に貢献する。

➤ **その他、本協定の目的に沿う技術開発等の検討**

双方のリソースを活かした目的に沿う技術開発等を検討する。

以上

## 「脱炭素社会の実現および循環型社会の形成」に関する取り組み連携について

目的

持続可能な沖縄の未来のため、「脱炭素社会の実現および循環型社会の形成」に向けて、拓伸会と沖縄電力が連携を図り、各々の持つ知識・技術を結集して緊密に連携・協力し、諸課題の解決に向けた取り組みを推進する。

具体的  
取組み

